

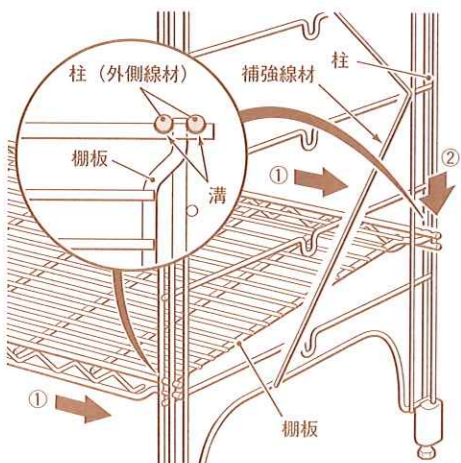
組み立て

●ドロー/キャスターを取り付ける場合、最初に右ページを参照のうえ棚を組み立てる前に柱にドロー/キャスターをセットしてください。

※棚板は下段から順に一段づつ組み立てます。

1 組み立ては下段から

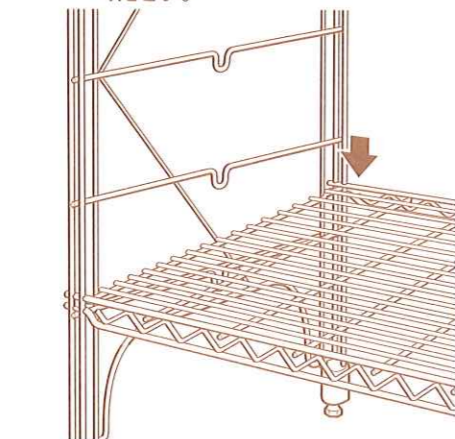
補強線材が外側になるように柱を立てます。棚の取り付け位置を決め、棚板を斜めにして溝を外側線材に合わせてはめ込みます。



2 反対側柱の組み付け

1と同様に棚板の溝を柱の縦線材に合わせてはめ込みます。

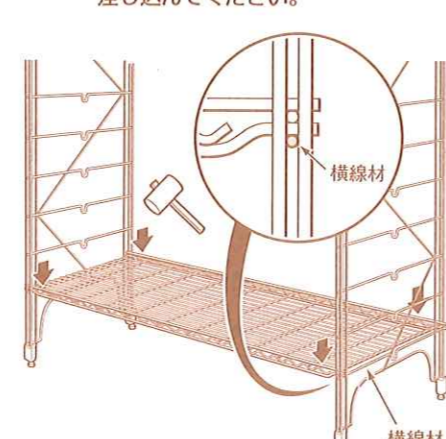
●注意 柱の横線材にあたるまでたたき込んでください。



3 棚板を固定する

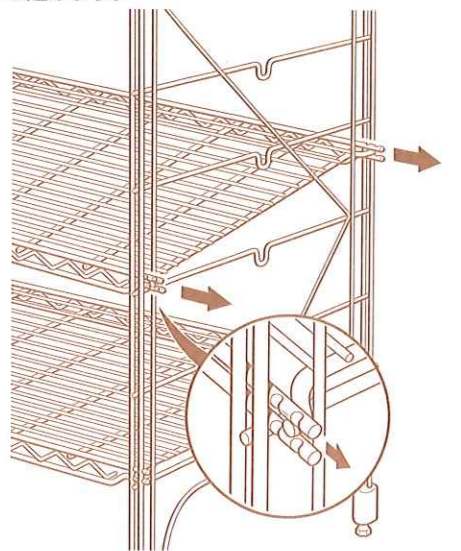
棚板の四隅を交互に木槌またはプラスチックハンマーでたたき、棚板を固定にします。

●注意 左右の柱の段がズレないように棚板を差し込んでください。



4 2段目棚板の差し込み

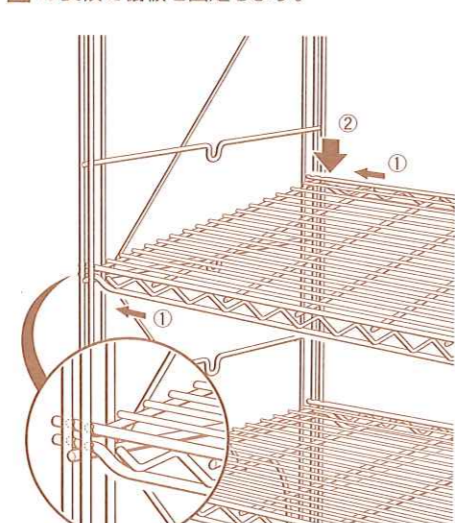
棚板を斜めにして、柱の内側より当たるまで差し込みます。



5 2段目棚板の固定

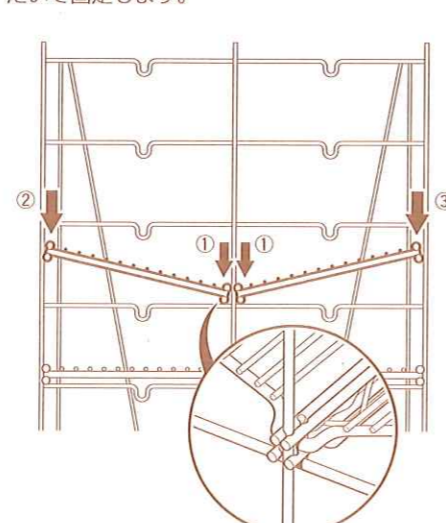
棚板を反対側に戻しながら、棚板の四隅の溝を左右の外側線材に噛み合わせます。

●注意 3の要領で棚板を固定します。



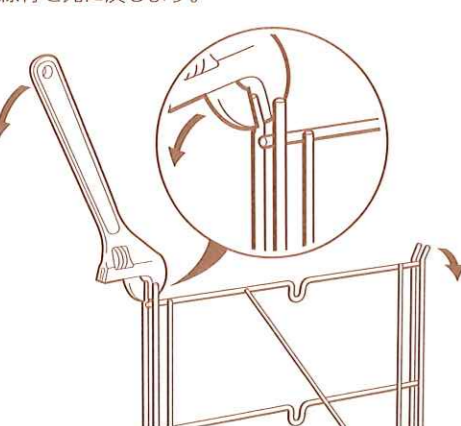
L柱にSサイズシェルフを並列に取り付ける場合

2枚の棚板をV字型に向かい合わせて柱の中央線材に溝を噛み合わせ、棚板の外側を交互にたたいて固定します。



6 柱の最上段へ組み付ける場合

柱の最上段に棚板を組み付ける際は、外側線材の最上部をモンキースパナなどで外側に広げて、棚板を入れます。棚板を組み付けたのちに外側線材を元に戻します。



7 組み立ての確認

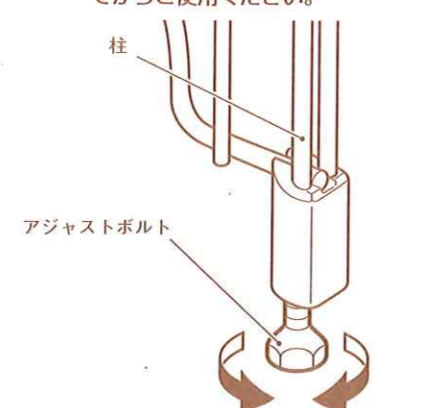
組み上がりましたら、歪みやガタつきがないか、もう一度確認します。



8 レベル調整のしかた

柱底部のアジャストボルトを回し、脚部高さを調整してガタつきがないようにしてください。

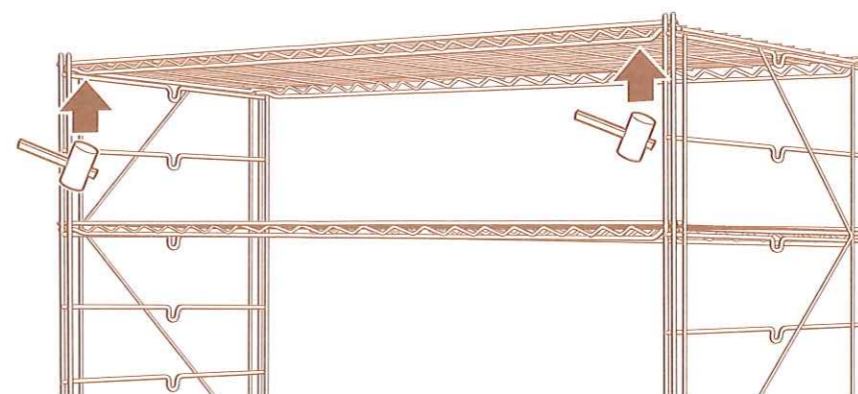
●注意 棚が水平になるよう確実に調整を行ってからご使用ください。



棚板の組み替え・解体

棚板の取り外しは最上段から行ってください。木槌またはプラスチックハンマーで、棚板の前面両端を下から交互にたたいて外します。

●注意 解体の際は、積載物をすべておろし、棚板の落下や柱の転倒に十分注意して作業をしてください。

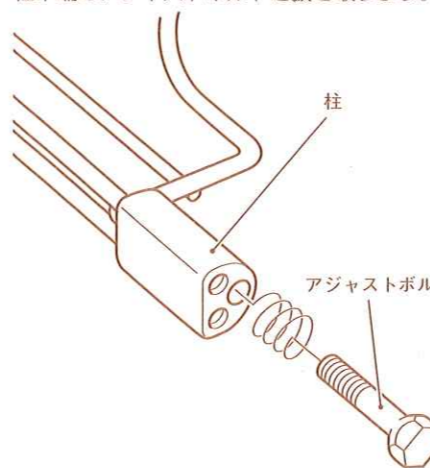


ドローの取り付け

●必ず柱の最下段に棚板を取り付けてください。

1 アジャストボルトの抜き取り

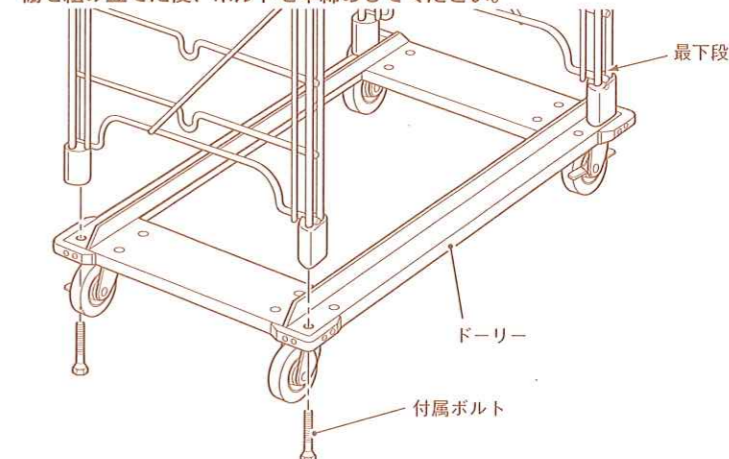
柱下端のアジャストボルトを抜き取ります。



2 ドローと柱の取り付け

ドローに付属のボルトを使用し、柱とドローの孔位置を合わせ、下からボルトをねじ込んで固定します。

棚を組み立てた後、ボルトを本締めしてください。



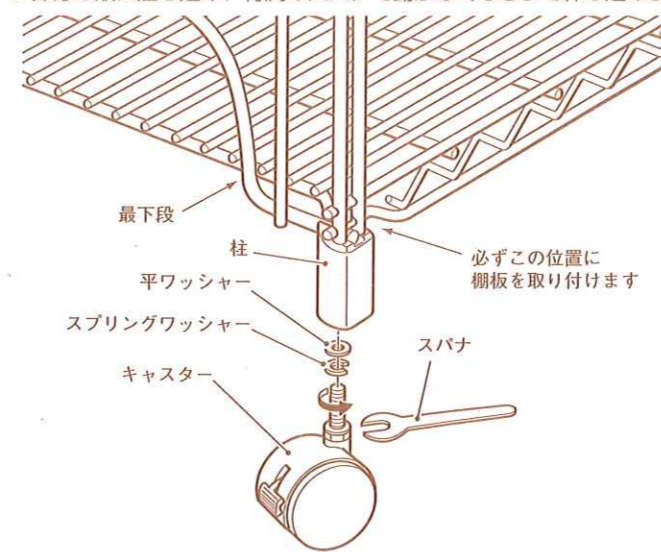
キャスターの取り付け

●必ず柱の最下段に棚板を取り付けてください。

1 キャスターの組み付け

●DR50/DRS50の場合

ドローの取り付け 1 を参考にして柱下部のアジャストボルトを取り除きます。次にスプリングワッシャー、平ワッシャー、キャスターのネジ部分の順に差し込み、付属のスパナで動かなくなるまで締め込みます。



●R75/S75の場合

ドローの取り付け 1 を参考にして柱下部のアジャストボルトを取り除きます。次にキャスターのネジ部分を差し込み、8角形のナット部分を回してねじ込み、プライヤーで動かなくなるまで締め込みます。

